

投稿が応援に！みんなでカジュアルソーシャルアクション

9/1（日）17時「#deleteC大作戦」一斉投稿スタート

～今年新たに日本製紙クレシアが参加しスコッティやキムワイブも対象に、
キャンパスブランドは全商品に拡大！啓発と寄付でがん治療研究を応援～

あつまれ、想い。

delete  大作戦
2024

「投稿」が応援に！

2024/9/1 START

17:00
一斉投稿

認定NPO法人 deleteC（デリート・シー/代表理事：小国士朗）は、みんなの力で、がんを治せる病気であることをミッションに、ふだんの暮らしの中で、がん治療研究を応援する取り組み「deleteC大作戦」を2024年9月1日（日）～9月30日（月）に全国にて実施します。今年、「投稿」、「買い物」、「歩く」、「学び」の4つのカジュアルソーシャルアクション（CSA）※を柱に展開します。SNS投稿や拡散ががん治療研究への応援につながる「#deleteC大作戦」は、9月1日（日）17:00の一斉投稿にてスタートを切ります。

※カジュアルソーシャルアクション（以下、CSA）とは、「ふだんの暮らしの中でできることから始めるかやかなアクション」です。

「#deleteC大作戦」は、毎年9月のがん征圧月間に、「あつまれ、想い」を合言葉に実施する、SNS【X、Instagram】での1投稿が100円、1リアクション10円が、がん治療研究への寄付につながるカジュアルソーシャルアクションです。今年は「毎日がCSA」をスローガンに掲げ、「#deleteC大作戦」に賛同する企業・団体のブランドの商品やロゴに関連する「C」の部分の自由なカタチで消した画像や動画を、「#deleteC大作戦」と「#参加企業・団体名、あるいはブランド名」をつけて参加者がSNS【X、Instagram】で投稿すると、1投稿あたり100円が、また、参加者が、参加企業・団体の公式アカウントが発信する画像や動画をシェア/いいね/再生をすると、1シェア/1いいね/1再生/あたり10円が、がん治療研究への寄付・啓発費用として、参加企業から deleteC に届けられます。毎年開始日には、「deleteC大作戦」や「がん治療研究」という言葉がXのトレンドワードにランクインするなどタイムライン上に投稿が溢れます。

9月1日の17時に、参加者とともにCを消し、想いを掲げ、一斉投稿を行います。SNSのタイムライン上に「がんを治せる病気にしたい」という想いを溢れさせ、広く発信します。さらに、同時期に関東を中心に展開するスーパーマーケットサミットにて開催される、買い物が応援につながる「deleteC大作戦2024 in サミット」には、サントリー、日本製紙クレシア、グラフィコも参加し、1商品の購入につき1円ががん治療研究への寄付につながります。

期間中にあつまった想いと寄付は、deleteC の医療公募・選考会を経た医師・研究者にお届けします。寄付・啓発先の発表は 2025 年 2 月 9 日に開催する「deleteC 2025 -HOPE-」を予定しています。deleteC は、がんを治せる病気にする日を一日も早く手繰り寄せるため、誰もが参加できる CSA を通じて、この取り組みを広く根付かせます。

【概要】

- 名称 : deleteC 大作戦 2024 投稿が応援に！「#deleteC 大作戦」
 期間 : 2024 年 9 月 1 日（日）17:00～9 月 30 日（月）23:59
 ※9 月 1 日（日）17:00 一斉投稿スタート
 特設サイト URL : <https://www.delete-c.com/post> ※8 月 26 日より順次公開
 実施内容 : SNS での投稿や拡散が応援に繋がる（参考方法については、後述の「参考①②」参照）

【投稿対象商品・啓発内容】※順不同

- ・大和リース株式会社様：商業施設「BRANCH（ブランチ）」の「C」を消そう
 運営・管理施設に設置の「deleteC モデル自動販売機」と一緒に撮影しよう
- ・サントリー食品インターナショナル株式会社様：「C.C.レモン」「デカビタ C」の「C」を消そう
- ・株式会社グラフィコ様 : 「オキシクリーン」から C を探して消そう
- ・コクヨ株式会社様 : Campus ブランド全商品の「C」を消そう
- ・J B C Cホールディングス株式会社様：J B C Cホールディングスの「C」を消そう
- ・セメダイン株式会社様 : セメダイン全商品に付いている「C」を消そう
- ・株式会社カーヴ・ド・リラックス様 : THE CELLAR 全店舗での購入商品
- ・日本製紙クレシア株式会社様 : 「CRECIA」や「SCOTTIE」の「C」を消そう
- ・株式会社 NTT Sports X 様 : 「浦安 D-Rocks」の「C」を消そう
- ・株式会社ブルームダイニングサービス様：がブリチキン。のロゴから「C」を消そう
- ・一般社団法人京丹後青年会議所様 : 京丹後で「C」を消してくれる企業やお店を探そう
- ・サミット株式会社様 : 取り組みに関する周知等
- ・公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団様：取り組みに関する周知等
- ・出雲ケーブルビジョン株式会社 : コミュニティチャンネルでの周知等

■参考①：#deleteC 大作戦への参加方法

「#deleteC 大作戦」に賛同する企業・団体のブランドの商品やロゴに関連する「C」の部分で自由なカタチで消した画像や動画を、「#deleteC 大作戦」と「#参加企業・団体名、あるいはブランド名」（※2）をつけて参加者が SNS【X、Instagram】で投稿すると、1 投稿あたり 100 円が、また、参加者が、参加企業・団体の公式アカウントが発信する画像や動画をシェア/いいね/再生をすると、1 シェア/1 いいね/1 再生/あたり 10 円が、がん治療研究への寄付・啓発費用として、参加企業から deleteC に届けられます。



deleteC 大作戦 2024 寄付につながる2つのアクション

1 投稿
 1投稿 100円
 参加企業の商品やサービス・ブランド名に含まれる「C」を消した写真を撮影。対象のハッシュタグをつけて、想いと一緒に SNS に投稿。

2 リアクション
 1リアクション 10円
 参加企業の公式アカウントが投稿した画像や動画に対して「いいね」「再生」「リポスト」などのリアクションをする。

①と②の合計額が deleteC を通じて **がん治療研究の寄付へ**

※1 各企業によりハッシュタグが異なります。対象一覧・ハッシュタグルールをご確認ください。
 ※2 あつまった寄付金は、がん治療研究への支援に充てるほか、deleteC の活動運営費に使われます。

投稿の際のハッシュタグについては、deleteC 特設サイトをご確認下さい。

delete  大作戦 2024 寄付金額の一覧表

1 Cを消す投稿でエール

2 1タップでエール

①と②の合算額が
がん治療研究の応援に

	Cを消す投稿	いいね	動画再生	リポスト
X	100円	10円	10円	10円
Instagram	100円	10円	10円	—

※各企業によりハッシュタグが異なります。対象一覧・ハッシュタグルールをご確認ください。

※参加企業の寄付額はそれぞれ上限が決まっています。寄付はがん治療研究及び、啓発費に充てられます。

■deleteC 大作戦 2024 のスローガン「毎日が CSA！」

いつでもどこでも
 かるやかにがん治療研究の応援ができる。
 それが、カジュアルソーシャルアクション(CSA)。

世代や立場をこえて、
 誰でもできる。

投稿するだけで、買うだけで、
 いろんな方法でできる。

ひとつひとつは小さな営みでも、
 あつまって、重なって、広がれば、
 「がんを治せる病気にする」という
 未来を手繰り寄せることができるはずだから。

ふだんの暮らしが、応援になる。
 できることから、かるやかに、はじめよう。

■deleteC 代表理事小国士朗メッセージ

5年目を迎える「deleteC 大作戦」。去年までは「SNSの投稿をするだけで応援につながる」アクションを展開していましたが、今年は60を超える企業が参画し、一気に4つのカジュアルソーシャルアクション(CSA)を同時に大展開することになりました。「投稿する」だけ「買う」だけ「歩く」だけ「学ぶ」だけ。いずれも誰もが軽やかにできる“動詞”を大切にしています。

あまりにも大きな課題、テーマを前にするとどうしても足がすくんでしまって、「何かをしたい！」という思いがあってもなかなか一歩が踏み出せないものです。でも、カジュアルソーシャルアクションは、ふだんの暮らしの中で誰もが当たり前に行っている“動詞”ばかりですから、気負うことなくずっと一歩が踏み出せると思います。

以前、ある中学生がこんなことを言ってくれました。「deleteCと出会って、自分にもできることがあったんだと思えるようになりました」。いい言葉だなと思います。一人ひとりの力は微力かもしれませんが、たくさん「自分にもできることがあった」が重なるときっと大きな力になっていくと信じています。

今年のスローガンは「毎日が CSA！」です。毎日、どこかで、なにかのアクションががん治療研究の応援につながる1か月です。ぜひ一緒に、想いをのせて、軽やかにアクションをしていけたら嬉しいです。

■ deleteC について

deleteC は、誰もがふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への啓発と寄付につながるカジュアルソーシャルアクションを通じて、1 日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることを目的に、2019 年に設立。2022 年には、認定 NPO 法人として、東京都に承認されました。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどし、オリジナル商品・サービスを企画・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究に寄付（※）としてお渡しし、市民もがん治療研究の応援に参加できる仕組みをつくっています。

毎年秋には「deleteC 大作戦」と題し、投稿・拡散、買い物、歩く、学びなど 4 つの CSA を通じて、がん治療研究を応援。2 月には「deleteC-HOPE-」を開催し、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡しします。

寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。現在は、参加企業・団体 200 社を超える方々に支持されており、これまでに小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がんなどの臨床専門医や基礎研究者、リサーチナースなど 10 名の医師・研究者に総額 4,000 万円以上を支援しています。

（※）寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

■ 取り組みのきっかけ

日本では、毎年 100 万人前後が新たにがんに罹患し、生涯 2 人に 1 人はがんにかかり、4 人に 1 人が命を落とすと言われていています。早期診断・治療の時代が到来したものの、がんは相変わらず国民の死亡原因第 1 位です。このようながんを治せる病気にするために、日本のみならず世界の研究者達が日々研究を続けています。

deleteC は、国内外の医師・研究者の方々と対話を重ねる中で、その一つひとつの研究こそが、現状を変え、数年後、10 年後の未来を変える「希望の種」だと気付きました。がん診療・がん治療研究に携わる医師から deleteC に「研究がなければ治療は始まらない」、「砂粒のような研究の積み重ねが大きな山を作る」、「今進めている研究が 3 年後、5 年後、未来のがんを治せる病気にする希望につながる」、「生きたいと願う患者さんの想いにこたえたい」など、多くの声が寄せられています。

治療研究の着実な積み重ねにより、不治の病と言われていたがんの治療成績は年々向上しています。手術や放射線治療技術の進歩に加えて、1990 年以降に分子標的薬が、2010 年代なかばには免疫チェックポイント阻害剤が登場し、近年では患者の遺伝子・細胞等を分析し、個々人に最適な治療法が選択できる「精密医療（Precision Medicine）」が現実のものとなりつつあります。しかし、いまだ治療選択が極めて限られるがんも存在し、治せないがんも残っています。また、欧米で使える薬、治療法が国内では使えない場合があるといった課題や、日本のがん研究の予算が欧米に比べて少ないといった課題があります。

deleteC は、このような医師・研究者の想いや現状を受け止め、誰もがふだんの暮らしの中で、がん治療研究という「希望の種」を応援できる仕組みを作り、「がんを治せる病気にする日」を一日でも早く手繰り寄せるため、活動を進めています。

※「最新がん統計」国立研究開発法人国立がん研究センター https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

【法人概要】

団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC (2022 年 9 月 22 日交付・認定番号 4 生都管第 703 号)
設立 : 2019 年 9 月 5 日
代表 : 代表理事 小国土朗
事業内容 : (1) ロゴ等を活用したがん啓発事業
(2) がん啓発イベント事業
(3) がん医学研究に対する寄付・助成事業
(4) がん医学研究に関する事業提供・啓発事業
(5) その他その目的を達成するために必要な事業
支援の方法 : <https://www.delete-c.com/support>
HP : <https://www.delete-c.com/>

本件に関するお問い合わせ : 認定 NPO 法人 deleteC 広報 山口・菅松 pr@delete-c.com